

SHO-BOND

SHO-BOND CORPORATION

土木建築用接着剤

エポキシ樹脂系接着剤

ショーボンド

#202 Series



#202

新・旧コンクリートの打継ぎ、カサ上げ用
仕上げモルタルの肌分れ防止・防水用

#202LT

生コンクリートの打設有効時間*が長い
新・旧コンクリートの打継ぎ、カサ上げ用

*打設有効時間：接着剤塗布後、接着力が発揮できる生(新)コンクリート打設の限定時間

#202JT

超速硬コンクリート専用の新・旧コンクリートの打継ぎ、
カサ上げ用

ショーボンドマテリアル株式会社

ショーボンド #202は、新・旧コンクリートの打継ぎ、カサ上げ専用接着剤として、強力な接着力・防水性を発揮する2液混合型のエポキシ樹脂系接着剤です。

基礎コンクリートの打継ぎ・カサ上げ、舗装改良による路肩のカサ上げ、橋台の拡幅、堤防・防潮堤・放水路・ダムのエプロンなどの打継ぎ・カサ上げ、仕上げモルタル肌分け防止・防水用など、用途の広い接着剤です。

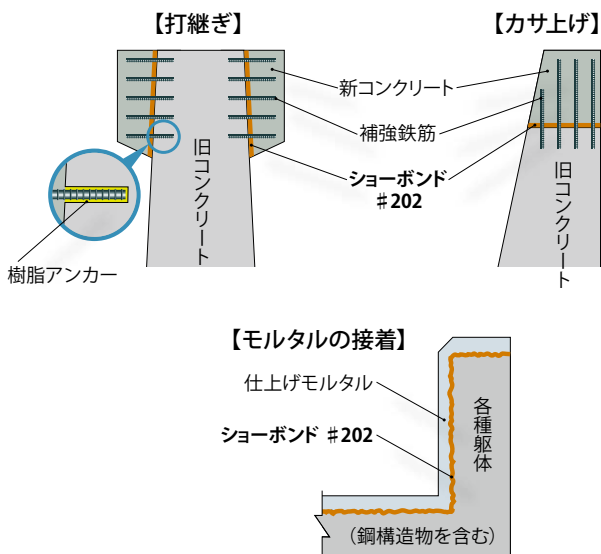
用途

①新・旧コンクリートの打継ぎ、カサ上げ

既設コンクリート構造物の拡幅や厚み、高さを増すために、新しいコンクリートを打設するとき使用する専用接着剤です。

②各種躯体とセメントモルタルの接着

左官ゴテによる仕上げモルタルの接着用として肌分け防止に最適な接着剤です。特に、防水・気密を必要とする場所には、優れた効果を発揮します。



使用方法

- ①ショーボンド#202は、主剤と硬化剤に分かれており、十分に混ぜ合わせてから使用します。
- ②主剤と硬化剤は、7：3の重量比割合です。少量使用するときには、必ずハカリで計量してください。
- ③計量した主剤と硬化剤は、缶またはポリ容器内で液状樹脂攪拌機または、金ペラ、攪拌棒で充分混合します。
- ④混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間(表参照)を確認の上、時間内に使い終わる量を混合してください。
- ⑤ショーボンド#202を塗布後、接着力を発揮する時間(打設有効時間)に制限があります。表中の打設有効時間を参考に、すみやかに打設してください。

施工方法

①表面処理

充分な接着効果をあげるため、施工前に必ず接着面の表面処理を行なってください。

- A. 接着面のレイトンス、汚れ、錆、塗料、油脂分をサンダー、ワイヤブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。
- B. 接着面が濡れている場合は、プロパンバーナー、電気ドライヤー、圧搾空気などで乾燥させます。
- C. 新設のコンクリート躯体は、14日間以上養生してから施工してください。

②接着

接着する面にショーボンド#202をハケ、ゴムベラなどで塗布し、打設有効時間(表参照)内に新コンクリートの打設または、セメントモルタルの左官仕上げを行います。

③塗布量

塗布量は、塗布面の状態により異なります。

塗布方法	塗布面の状態	1m ² 当りの塗布量
ハケ塗り	粗仕上げ(型枠)面	0.8kg
	ハツリ面	1.2kg

④養生

新コンクリート、セメントモルタルが硬化するまで養生してください。

■可使用時間・打設有効時間・荷姿

ショーボンド #202	冬用(W)		夏用(S)	
	5℃	15℃	20℃	30℃
可使用時間	90分	60分	50分	30分
打設有効時間	5時間	3時間	3時間	1.5時間
荷姿	1kgセット(主剤/0.7kg、硬化剤/0.3kg) 10kgセット(主剤/7kg、硬化剤/3kg)			

■社内規格値

試験項目	試験方法	単位	社内規格値
比重	JIS K 7112	—	1.30 ± 0.10
粘度	JIS K 6833	mPa・s	3,000 ~ 7,000
圧縮降伏強さ	JIS K 7208	N/mm ²	50以上
圧縮弾性率	JIS K 7208	N/mm ²	(2.0~4.5)×10 ³
曲げ強さ	JIS K 7203	N/mm ²	40以上
引張強さ	JIS K 7113	N/mm ²	20以上
衝撃強さ	JIS K 7111	kJ/m ²	1.5以上
硬さ	JIS K 7215	HDD	80以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	N/mm ²	13以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

#202LT

接着剤塗布後、型枠を組むなど、打設有効時間が長時間必要な場合
【打設有効時間：11時間/20℃】

ショーボンド #202LTは、新コンクリートの打設有効時間が長時間(11時間・20℃)必要な場合の新・旧コンクリートの打継ぎ、カサ上げ用接着剤として、強力な接着力・防水性を発揮する2液混合型のエポキシ樹脂系接着剤です。

接着剤を塗布してから型枠を組むなど新コンクリートの打設まで長時間かかる場合には、ショーボンド #202LTをご使用ください。

使用方法

- ①ショーボンド #202LTは、主剤と硬化剤に分かれており、十分に混ぜ合わせてから使用します。
- ②主剤と硬化剤は、3：1の重量比割合です。少量使用するときは、必ずハカリで計量してください。
- ③計量した主剤と硬化剤は、缶またはポリ容器内で液状樹脂攪拌機または金ベラ、攪拌棒で充分混合します。
- ④混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間(表参照)を確認の上、できるだけすみやかに塗布します(使用可能時間内に使い終わる量を混合してください)。
- ⑤ショーボンド #202LTを塗布後、接着力を発揮する時間(打設有効時間)に制限があります。表中の打設有効時間を参考に、新コンクリートをすみやかに打設してください。

施工方法

①表面処理

充分な接着効果をあげるため、施工前に必ず接着面の表面処理を行ってください。

- A. 接着面のレイトランス、汚れ、錆、塗料、油脂分をサンダー、ワイヤブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。
- B. 接着面が濡れている場合は、プロパンバーナー、電気ドライヤー、圧搾空気などで乾燥させます。
- C. 新設のコンクリート躯体は、14日間以上養生してから施工してください。

②接着

接着する面にショーボンド #202LTをハケ、ゴムベラなどですみやかに塗布し、打設有効時間(表参照)内に新コンクリートを打設します。

③塗布量

塗布量は、塗布面の状態により異なります。

塗布方法	塗布面の状態	1m ² 当りの塗布量
ハケ塗り	粗仕上げ(型枠)面	0.8kg
	ハツリ面	1.2kg

④養生

新コンクリートが硬化するまで養生してください。

■可使用時間・打設有効時間・荷姿

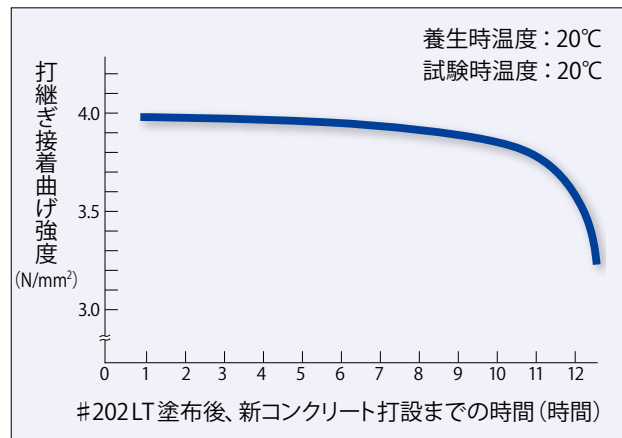
	15℃	20℃	30℃
可使用時間	90分	70分	40分
打設有効時間	20時間	11時間	6時間
荷姿	10kgセット(主剤/7.5kg、硬化剤/2.5kg)		

性能・規格

●塗布後の経過時間と打継ぎ接着曲げ強度

JIS A 1106 に準拠して打継ぎ接着曲げ試験を行う

■試験結果



●上記結果は、試験室で得られたものです。

■社内規格値

試験項目	試験方法	単位	社内規格値
比重	JIS K 7112	—	1.30 ± 0.10
粘度	JIS K 6833	mPa·s	3,000 ~ 7,000
可使用時間	温度上昇法	分	60以上
圧縮降伏強さ	JIS K 7208	N/mm ²	35以上
圧縮弾性率	JIS K 7208	N/mm ²	1.0×10 ³ 以上
曲げ強さ	JIS K 7203	N/mm ²	20以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	N/mm ²	15以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

#202 JT

超速硬コンクリートの打設に

【打設有効時間：60分以内/20℃（#202 JTは、気温25℃を超えると使用できません）】

ショーボンド #202 JT は、超速硬コンクリートを既設コンクリートに打継ぎ、カサ上げする際の専用接着剤として、強力な接着力・防水性を発揮する2液混合型のエポキシ樹脂系接着剤です。

超速硬コンクリートの早強性に対応する接着強度の発現性および湿潤面への接着性に優れているので、超速硬コンクリートの打継ぎ、カサ上げにはショーボンド #202 JT をご使用ください。

使用方法

- ① ショーボンド #202 JT は、主剤と硬化剤に分かれており、十分に混ぜ合わせてから使用します。
- ② 主剤と硬化剤は、3：1の重量比割合です。少量使用するときは、必ずハカリで計量してください。
- ③ 計量した主剤と硬化剤は、缶またはポリ容器内で液状樹脂攪拌機または金べら、攪拌棒で充分混合します。
- ④ 混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間(表参照)を確認の上、できるだけすみやかに塗布します(使用可能時間内に使い終わる量を混合してください)。
- ⑤ ショーボンド #202 JT を塗布後、接着力を発揮する時間(打設有効時間)に制限があります。表中の打設有効時間を参考に、新コンクリートをすみやかに打設してください。

施工方法

① 表面処理

充分な接着効果をあげるため、施工前に必ず接着面の表面処理を行ってください。

- A. 接着面のレイトンス、汚れ、錆、塗料、油脂分をサンダー、ワイヤブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。
- B. 接着面が濡れている場合は、ウエス等で水分を除去し、浮いた水がない状態にします。
- C. 新設のコンクリート躯体は、14日間以上養生してから施工してください。

② 接着

接着する面にショーボンド #202 JT をハケ、ゴムベラなどで

すみやかに塗布し、打設有効時間(表参照)内に新コンクリートを打設します。

③ 塗布量

塗布量は、塗布面の状態により異なります。

塗布方法	塗布面の状態	1m ² 当りの塗布量
ハケ塗り	粗仕上げ(型枠)面	0.8kg
	ハツリ面	1.2kg

④ 養生

新コンクリートが硬化するまで養生してください。

■ 可使用時間・打設有効時間・荷姿

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃
可使用時間	45分	35分	20分	15分	10分
打設有効時間*1	150分	90分	75分	60分	40分
供用可能時間*2	8時間	6時間	4時間	3時間	3時間
荷姿	10kgセット(主剤/7.5kg、硬化剤/2.5kg)				

*1 打設有効時間：主剤と硬化剤を混合後、ただちに塗布した場合の数値です。可使用時間の限度近くで塗布した場合、打設有効時間が短くなりますのでご注意ください。

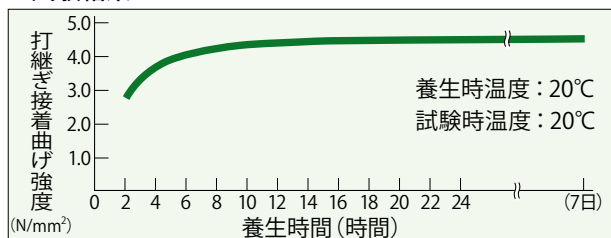
*2 供用可能時間：打継ぎ接着曲げ強度試験で、コンクリートの一部が破壊し始める時間を示し、交通解放などの目安となる時間です。

性能・規格

● 塗布後の経過時間と打継ぎ接着曲げ強度

JIS A 1106 に準拠して打継ぎ接着曲げ試験を行う

■ 試験結果



●上記結果は、試験室で得られたものです。

■ 社内規格値

試験項目	試験方法	単位	社内規格値
比重	JIS K 7112	—	1.1~1.4
粘度	JIS K 6833	mPa·s	8,000 ± 4,000
圧縮降伏強さ	JIS K 7208	N/mm ²	50以上
圧縮弾性率	JIS K 7208	N/mm ²	1500以上
曲げ強さ	JIS K 7203	N/mm ²	35以上
引張強さ	JIS K 7113	N/mm ²	20以上
衝撃強さ	JIS K 7111	kJ/m ²	1.5以上
硬さ	JIS K 7215	HDD	80以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	N/mm ²	10以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

■ 製造元

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL. 049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

● 取扱い営業所

J-5

2018年1月